

# 会員サイト

8月9日

## <会員ポジション>

( ) は注文中・数字のみは建玉中・赤は決済済み

銘柄	限月	建玉日	建玉値段	売枚数	買枚数	終値	新規注文	ロスカット	利食目標
金	1	2018/04	5/26	4497 円	1		4471 円		
	2	2018/06	8/4	4480 円	1		4471 円		
白金	1	2018/04	6/7	3360 円		1	3442 円		
	2	2018/06	6/29	3319 円		1	3439 円		
コーン	1	2018/07					21760 円		
	2								
ゴム	1	2018/1	8/9	212.9 円		1	209.8 円		206 円以下
	2								

※この会員ポジションは、元本を保証しているものではありません。必ず、ご自身の判断でお願い致します。

## 世界のETF取組高

銘柄	8月4日時点	前日比	主な増減
金	1926.95	+0.48	
銀	20675.03	-104.30	iシェアーズ減少
白金	72.24	+0.81	NY・ロンドン増加
パラジウム	47.20	+1.25	アブサ・キャピタル増加

1トン単位

## 東京トウモロコシの需給・作付面積・四半期在庫予想（7月11日時点）

需給報告	事前予想	FCストーン	インフォーマ	前回
単収（）		162.8Bu（8/2）	165.9Bu（8/3）	170.7Bu（7/12）
生産高（8/09）	138.55億 Bu	135.90億 Bu	138.52億 Bu	142.55億 Bu（7/12）
期末在庫（8/09）	19.40億 Bu			23.25億 Bu（7/12）
四半期在庫（6/30）	52億 2500万 Bu			
作付面積（6/30）	9089万エーカー		8970万エーカー（5/12）	

※赤は結果の数字になります。

## 東京金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	4470 円	4483 円	4479 円	4487 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	4472 円	4464 円	4474 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	4465 円	4477 円	4367 円	
RSI (14 日)	51.9%	乖離率 (13 日)	-0.3%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	40.1%	乖離率 (13 週)	-0.3%	

ブルーの印は上値抵抗。イエローは下値支持、グリーンはポイント。

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
4502 円	4485 円	4467 円	4449 円	4432 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
7/3	457,201	221,681	127,882	93,799
7/11	475,669	217,637	157,377	60,260
7/18	484,204	217,232	157,094	60,138
7/25	463,827	220,299	129,468	90,831
8/1	448,709	239,766	110,094	129,672
前週比	-15,118	19,467	-19,374	38,841

コメント 本日の予想レンジ 4470 円~4460 円  
今週の予想レンジ 4480 円~4400 円

8日の金現物相場は反落し、2週間ぶりの安値を付けた。予想を上回る米求人数を受け、ドル高が進んだ。投資家は米連邦準備制度理事会（FRB）による追加利上げのペースを探る手掛かりとして、今週発表の米インフレ関連指数を注視している。RJOフューチャーズ（シカゴ）の上級商品ブローカーのフィリップ・ストレイブル氏は「米求人数は期待以上だった。この統計結果がドルを引き上げ、金相場には圧力となった」と述べた。6月の米求人数は過去最高を記録し、ドルは対主要通貨バスケットで上昇した。ドル建てで取引される商品は、海外の投資家にとって、ドル高になると割高感が生じる。市場では、北朝鮮が既に核弾頭を開発した可能性があるとの日本政府の報道に注目が集まった。地政学リスクは、金などの安全資産への需要を高める可能性がある。投資家は、今週発表予定の米インフレ指標や、4兆2000億ドルに上るFRBの保有資産縮小がいつ始まるかの手掛かりに注目している。インフレは、FRBが政策決定時に考慮する主要な要素。インフレ指標が堅調なら利上げ観測が高まる可能性があり、金利を生まない金相場に圧力が強まることにつながる。スコシア銀行はノートで「金融政策が引き締め方向に向かっていることを考えると、強気の相場は、今後のリスク増大に対する備えとして、投資家が金を買増している警告かもしれない」と指摘した。世界最大の金ETF「SPDRゴールド・トラスト」の保有高は7日、0.03%減り、786.87トンと2016年3月以来の低水準となった。

北朝鮮は7日、国連で新たな制裁決議を非難、米国が『敵対的』な政策をやるまで核開発プログラムについて公表しないと改めて表明。朝方には、米領グアムへのミサイル攻撃を「慎重に検討」していると伝えられており、目先地政学リスクが意識され、円買い・NY金買いとなった模様。地政学リスクがくすぶっておりますが、既に売り方ファン্ডは買戻し、新規買いも増加させている現状で、上値は限定的と考えます。しかも、東京市場では買いの勢いが衰えていることから、今後4465円~4474円が売り場と考えます。相場の分岐点は、4483円~4485円、この価格を上抜けると、当面は下げ渋りを見せませんが、その価格を意識しながら、売りで臨むところ。

## 東京白金

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	3375 円	3385 円	3343 円	3366 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	3416 円	3346 円	3375 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	3363 円	3400 円	3462 円	
RSI (14 日)	72.46%	乖離率 (13 日)	2.1%	乖離率 7% が 目安
RSI (14 週)	58.0%	乖離率 (13 週)	2.6%	

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
3430 円	3390 円	3350 円	3310 円	3270 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
7/3	72,797	44,318	36,108	8,210
7/11	74,471	45,904	40,507	5,397
7/18	72,456	43,871	35,330	8,541
7/25	71,062	43,574	33,391	10,183
8/1	72,421	45,276	32,464	12,812
前週比	1,359	1,702	-927	2,629

コメント 本日の予想レンジ 3440 円~3430 円  
今週の予想レンジ 3400 円~3500 円

日本時間 9 日 1 時半ごろに、南ア・ズマ大統領の不信任案の採決の結果が公表されました。反対票 198 票、賛成票 177 票、棄権 9 票で否決されました。そのため、南ア・ランドが急落し、それに対し NY 白金も売られる場面がありましたが、その影響は一時的となった模様。今回の不信任案が否決されたことから、デモの拡大や混乱が警戒され、ランドの上値が抑えられる可能性があります。

ただし、その一方で NY 市場では 1000 ドルを試す展開となっております。テクニカル面と、米経済指標が好調であったため、買われたようです。昨日の NY 市場のポジション取りを見ますと、ファンド売りの買戻しと、新規買いが入っていると考えております。引き続き、今週は指数が上がるのを待っている相場と考えます。3416 円~3416 円は買い方針と考え、3375 円を下回った場合は、買い玉全て撤退。

# 東京トウモロコシ

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	22300 円	21540 円	22060 円	21900 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	21560 円	22100 円	22030 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	21940 円	22110 円	21800 円	
RSI (14 日)	33.3%	乖離率 (13 日)	-0.3%	乖離率 5% が 目安
RSI (14 週)	42.2%	乖離率 (13 週)	-2.7%	

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
23080 円	22540 円	22000 円	21450 円	20910 円

## CFTC 建玉明細 (~までの一週間)

日付	総取組高	買い	売り	買い - 売り
7/3	1,330,520	375,785	332,305	43,480
7/11	1,373,866	413,616	237,871	175,745
7/18	1,400,131	402,431	225,284	177,147
7/25	1,400,075	394,247	222,182	172,065
8/1	1,434,247	401,287	253,092	148,195
前週比	34,172	7,040	30,910	-23,870

コメント 本日の予想レンジ 21500 円~21600 円  
今週の予想レンジ 21500 円~22000 円

反落。トウモロコシ買い・大豆売りのスプレッド取引の巻き戻しの動きを受け、大豆に対して値下がりました。トレーダーらは、10日の米農務省需給報告を前に、引き続きポジション調整を進めている。12月きりの清算値は3.00セント安の383.75セント。388.75セントと1週間ぶりの高値を付けた後、下落に転じた。飼料穀物の世界的な供給増大を背景とした価格下落を考慮して、欧州連合(EU)が約3年ぶりにトウモロコシの輸入関税導入を発表したことは、相場の重しとなった。ロイター通信のアナリスト調査によると、農務省需給報告では、2017年の米トウモロコシ生産とイールド見通しが引き下げられるとみられている

米農務省前にポジション調整が出たようです。大豆買いのコーン売りです。ただし、今回の事前予想を見ますと、大幅に下方修正を予想しております。4ドル突破の可能性は限りなく薄いのですが、作柄良以上が60%まで低下しているため、作画に単収を引き下げる可能性はあります。瞬間戻りを入れる可能性はあるため、東京市場では、21940円~22110円を売り場と考え対応していきたいと思います。

# 東京ゴム

一目均衡表	基準値	転換値	雲上限	雲下限
	206.1 円	208.1 円	196.5 円	207.8 円
移動平均線 (日足)	5 日	25 日	100 日	
	209.0 円	205.5 円	213.7 円	
移動平均線 (週足)	5 週	25 週	100 週	
	208.5 円	221.5 円	194.7 円	
RSI (14 日)	48.5%	乖離率 (13 日)	3.0%	乖離率 10% ~ 15% が目安
RSI (14 週)	47.5%	乖離率 (13 週)	5.5%	

## ボリンジャーバンド

$\sigma = +2$	$\sigma = +1$	中心線	$\sigma = -1$	$\sigma = -2$
218.5 円	212.9 円	207.2 円	200.5 円	195.9 円

コメント 本日の予想レンジ 209 円~216 円  
今週の予想レンジ 206 円~217 円

ゴムの大相場は期待せずに、突っ込み買い吹き値売りで臨むのが良いと思います。基本は、テクニカルに沿って、買い主体で臨むのが良いでしょう。下値の目安は 206.1 円~209 円、この価格をアツサリ下抜けるようならば、買いから売りに考え方を変えていきます。押し目買いゾーンは、引き続きボリンジャーバンド  $\sigma = +1$  と考えており、ボリンジャーバンド  $\sigma = +2$  を上抜けたところは、一旦利食いとしていきたいと思います。